

厚生労働省

令和元年度障害者総合福祉推進事業

意思決定支援の取組推進に関する研究
報告書

令和2年3月

神奈川県

はじめに

本報告書は、津久井やまゆり園利用者に係る意思決定支援の取組みをまとめたものです。津久井やまゆり園利用者に係る意思決定支援の取組みの発端は、平成 28 年 7 月 26 日に発生した許しがたい事件にあります。事件後、神奈川県は、「ともに生きる社会かながわ憲章」を制定し、県民総ぐるみによる共生社会の実現に向けた歩みを進めつつあります。

津久井やまゆり園利用者に係る意思決定支援は、「ともに生きる社会かながわ憲章」の最先端に位置付けられるべき取組みの一つです。「全ての国民が、障害の有無によつて分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会」（障害者基本法（昭和 45 年 5 月 21 日法律第 84 号）第 1 条）の実現には、意思決定支援は欠かせません。

ここに公表する意思決定支援の取組みはいまだ途上にあり、完結したものではありません。多くの方々に本報告書を手にとっていただき、意思決定支援の充実に向けた取組みに活用していただければ幸いです。

「意思決定支援の取組推進に関する研究」検討会座長
神奈川県意思決定支援専門アドバイザー

鈴木 敏彦（和泉短期大学教授・社会福祉士）

津久井やまゆり園事件 この悲しみを力に、 ともに生きる社会を実現します

平成28年7月26日、障害者支援施設である
県立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。
このような事件が二度と繰り返されないよう、
私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、
ともに生きる社会の実現をめざし、
ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。

翔子


題字「ともに生きる」
ダウン症の女流書家 金澤翔子

本県の取り組みや金澤翔子さんの席上揮毫の動画などは、
こちらから



この憲章は神奈川県と神奈川県議会が共同して策定したものです。

問合せ先 神奈川県福祉子どもみらい局共生社会推進課 電話 045-210-4961 FAX 045-210-8854



ともに生きる社会

かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、
すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく
暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、
県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県



神奈川県

KANAGAWA

はじめに

目次

I 事業要旨	
1 事業目的	1
2 実施状況	1
3 津久井やまゆり園利用者に係る意思決定支援の特徴	1
II 実施概要	
1 研究検討会の開催状況等	5
2 津久井やまゆり園利用者意思決定支援チーム向け研修の実施	6
3 成果等の公表計画予定	6
III 津久井やまゆり園利用者に係る意思決定支援チーム向けマニュアル	
1 基本的な考え方	10
2 施設職員による状況整理	10
3 津久井やまゆり園利用者意思決定支援チームの設置	11
4 津久井やまゆり園利用者への説明や見学、体験の機会の提供	13
5 家族等への説明や見学、体験の機会の提供	16
6 津久井やまゆり園利用者の意思の確認	16
7 意思決定支援専門アドバイザー	19
8 意思決定支援検討会議	19
9 意思決定支援検討会議の結果に基づく調整と見直し等	21
10 意思決定支援チームに対する研修の実施	22
IV 事例集	
場面事例1 思いが伝わることによる好循環！	26
コラム1 意思決定支援における支援チームの重要性	29
場面事例2 伝わる経験の繰り返しによる自信！	32
場面事例3 いつも笑顔で暮らしたい！！	36
場面事例4 寂しさ、分かってくれた？	40
場面事例5 今の支援をやり続ける！	44

コラム 2	意思決定支援に必要な「チーム支援」と「専門性」	47
場面事例 6	新たな出会いや経験がもたらす変化！	50
コラム 3	意思決定支援と居場所	53
場面事例 7	事件のあった場所を覚えている～日々記録の積み上げこそが根拠～	56
全般事例 1	揺れる気持ちに寄り添う	60
全般事例 2	本人も！支援者も！経験の積み重ね	100
コラム 4	成年後見人制度	127
V	意思決定支援の取組経過	
1	再生基本構想策定まで	132
2	再生基本構想策定前後	134
3	より実践的な意思決定支援の開始	136
4	平成 29 年度の振り返りと平成 30 年度に向けた準備	137
5	全利用者の意思決定支援の取組みに向けての調整	137
6	意思決定支援の全県展開について	140
VI	現状と課題	
1	意思決定支援のゴールとは何か	144
2	意思決定支援の場面	144
3	意思決定支援の基本的原則	145
4	チームによる意思決定支援	146
5	第三者の視点の必要性	146
6	「代理決定」をめぐって	147
7	ライフステージに寄り添う意思決定支援	147
8	意思決定支援における「利用者－支援者のエンパワメント・サイクル」（プラスの循環）	147
9	「地域資源」について	148
10	意思決定支援と市町村の役割	148
11	適切な障害ケアマネジメントの実施	149
VII	参考資料	150

